

令和2年度

枚方市立第四中学校
1年3学期シラバス集

進路指導部

1. はじめに

平成27年度から、目標に準拠した評価(絶対評価)で行われています。それに伴い、枚方市及び本校も評価基準が変更になりました。また、評価の規準についてもより明確になりました。

2. 通知票及び調査書の評価基準について

各科目(国語・社会・数学・理科・音楽・保健体育・美術・技術家庭科・外国語の9教科)について、観点(国語は5観点、その他は4観点)があります。

各教科のそれぞれの観点について、A,B,Cの評価をつけ、その観点別評価(表1)から、教科として5段階評価(5、4、3、2、1)の評定(表2)をつけます。

それぞれの評価基準については、次の表に記します。なお、この評価は、枚方市内統一の評価基準となります。

表1

| 観点別評価 | | 目標到達度 |
|-------|-----------|-------|
| A | 十分満足できる | 75%以上 |
| B | おおむね満足できる | 40%以上 |
| C | 努力を要する | 40%未満 |

表2

| 総合評定 | | 目標到達度 |
|------|----------------------|-------|
| 5 | 十分満足できるもののうち、特に程度が高い | 90%以上 |
| 4 | 十分満足できる | 75%以上 |
| 3 | おおむね満足できる | 40%以上 |
| 2 | 努力を要する | 20%以上 |
| 1 | 一層努力を要する | 20%未満 |

評価の例(観点4つの場合)

| | 観点1 | 観点2 | 観点3 | 観点4 | 評定 |
|------|-----|-----|-----|-----|----|
| 〇〇くん | A | A | A | A | 5 |
| ●●くん | A | A | A | A | 4 |
| △△さん | A | A | A | B | 5 |
| ▲▲さん | A | A | A | B | 3 |

3. 調査書対象学年について

平成30年度入試以降は入学時よりの成績が対象となっています。

| 入試 | 対象学年 | 比率 |
|------------------------|-----------|----------------------------|
| 平成30年度入試以降 (現1~3年生) | 第1学年~第3学年 | (第1学年:第2学年:第3学年 =1:1:3) |

「絶対評価」とは、学習指導要領に示す目標をどの程度達成できたか、達成状況を見るための評価です。個人の努力がそのまま反映されますので、本校では、各教科シラバスを作成し、授業や提出物、テストなどの生徒の日常の頑張りを評価していきます。

毎回の授業を大切に、毎日の学習にしっかり取り組んで、自分の力をどんどん伸ばして欲しいと思います。

※シラバスは、現時点での予定を示したものです。従って、授業の進捗等により、多少変更する場合があります。

国語【1年3学期】

| 教材の種類・単元名 | 到達目標 |
|------------------|---|
| 説明文：「この小さな地球の上で」 | <ul style="list-style-type: none"> 文章に使われている語句の意味について、文脈に沿って捉える。 地球や人間に対する筆者の考え方を読み取り、自分のものの見方や考え方を広げる。 |
| 物語文：「トロッコ」 | <ul style="list-style-type: none"> 情景や行動の描写から、登場人物の心情の変化を読み取る。 文脈の中のことばの意味を捉え、表現の工夫や特徴について考える。 |
| 文法 自立語のまとめ | <ul style="list-style-type: none"> 自立語の8品詞についての理解を深め、定着を図る。 |
| 漢字：漢字ノート | <ul style="list-style-type: none"> 漢字の定着をはかる。 |
| 古典：小倉百人一首 | <ul style="list-style-type: none"> 百人一首を通じて伝統文化に親しみながら、歴史的仮名遣いの定着を図る。(暗唱) |

| 観点別学習状況の評価対象と内容 | | |
|-----------------|-----|----------------|
| 国語への関心・意欲・態度 | 20% | 提出物・ノート・授業態度等 |
| 話す・聞く能力 | 20% | 定期テスト等 |
| 書く能力 | 20% | 定期テスト・作文等 |
| 読む能力 | 20% | 定期テスト・暗唱等 |
| 言語についての知識・理解・技能 | 20% | 定期テスト・小テスト・書写等 |

社会【1年3学期】

| 分野 | 単元 | 到達目標 |
|----|---------------|--|
| 地理 | 世界のさまざまな地域の調査 | 世界のさまざまな地域について、その特色をとらえる適切な主題を設けて追求し、世界の地理的認識を深める。また、世界のさまざまな地域調査における視点と方法を身に付ける。 |
| | 日本の地域構成 | 地球儀や地図帳を活用し、日本の国土の位置、世界各地との時差、領域の特色と変化、地域区分などを理解し、日本の地域構成を大観する。 |
| | 世界から見た日本の姿 | 世界的視野や日本全体の視野からみた日本の地域的特色を理解し、日本の国土の特色をさまざまな面から大観する。 |
| 歴史 | 中世の日本① | <ul style="list-style-type: none"> 武家政権が誕生して、武士の支配が次第に全国に広まり武家社会が発展していったという大きな時代の流れを理解する |
| | 中世の日本② | <ul style="list-style-type: none"> 東南アジア世界との関わりをモンゴルの襲来、日明貿易、琉球の国際的役割を通して理解し、その関わりが中世の日本に及ぼした影響を考える。 諸産業が発達し都市や農村に自治的な仕組みが生まれるなど、民衆の成長を理解する。 |

| 観点別学習状況の評価対象と内容 | | |
|-----------------|-----|----------------|
| 社会的事象への関心・意欲・態度 | 25% | 提出物・授業態度・定期テスト |
| 社会的な思考・判断・表現 | 25% | 定期テスト・発表 |
| 資料活用の技能 | 25% | 定期テスト・発表 |
| 社会的事象についての知識・理解 | 25% | 定期テスト |

数学【1年3学期】

| 単元 | 到達目標 | |
|------------------|---|----------|
| 6章 空間図形 | <ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな立体について理解し、説明できる。 ・空間における平面と直線の位置関係について理解し、説明できる。 ・柱体、錐体について理解し、説明できる。 ・投影図や展開図の意味を理解し、説明できる。 ・おうぎ形の弧の長さや面積の求め方を理解し、求めることができる。 ・立体の表面積と体積について理解し、求めることができる。 | |
| 7章 資料の分析と活用 | <ul style="list-style-type: none"> ・資料を収集し、表やグラフを作成することができる。 ・いろいろな代表値を求めることができる。 ・測定値や近似値について理解し、有効数字で表すことができる。 | |
| 観点別学習状況の評価対象と内容 | | |
| 数学への関心・意欲・態度 | 25% | 提出物、授業態度 |
| 数学的な見方や考え方 | 25% | 定期テスト |
| 数学的な技能 | 25% | 定期テスト |
| 数量や図形などについての知識理解 | 25% | 定期テスト |

理科【1年3学期】

| 単元 | 到達目標 | |
|---|--|---------------------------|
| 身のまわりの物質 2章 いろいろな 気体とその性質 3章 水溶液の性質 4章 物質の状態と その変化 | <ul style="list-style-type: none"> • 身のまわりの物質の固有の性質と共通の性質を理解する。 • 気体を発生させる実験を行い、気体の種類による特性を見いだすとともに、気体を発生させる方法や捕集法などの技能を身につける。 • 粒子の考え方で、水溶液の性質、質量パーセント濃度、状態変化について理解する。状態変化に関しては質量や体積変化についても理解する。 • 水溶液から溶質を取り出す方法を理解する。 • 状態変化により、物質の体積は変化するが質量は変化しないことを見いだす。 • 物質は融点や沸点を境に状態が変化することや沸点の違いによって物質の分離ができることを見いだす。 • 蒸留により混合物からより純粋な物質が分離できることを理解する。 | |
| 活きている地球 1章 大地がゆれる 2章 大地が火をふく 3章 大地は語る | <ul style="list-style-type: none"> • 地震のゆれの特徴を、地震計の記録から理解する。 • 地震計の記録から等発震時曲線が書けるようになる。 • 初期微動継続時間は震源から離れるほど長くなることを、グラフなどから導くことができる。 • 日本付近の震央・震源の分布の特徴を太平洋側のプレートの沈み込みと関連づけて理解する。 • 地震による災害には、ゆれによる直接的な被害と2次的な被害があり、マグニチュードや震源までの距離、土地の様子などによって、起こる被害の様子も異なることに気づく。 • 火山噴出物の種類とその特徴を理解する。 • マグマの性質と火山の形・噴出物の色・噴火の様子との関係が見いだせる。 • 火山岩と深成岩の組織の違いを、その成因と関連づけて理解する。 • 地層に含まれる粒の大きさなどの違いに注目し、地層の広がりを時間的、空間的に理解する。 • 地層に含まれる堆積物から、地層の同時代性のものがわかる。 • 地層に含まれる化石からその地層が堆積した時代や当時の環境を指摘できる。 | |
| 観点別学習状況の評価対象と内容 | | |
| 自然事象への関心・意欲・態度 | 25% | 定期テスト・提出物・授業への取り組み・ワークシート |
| 科学的な思考・表現 | 25% | 定期テスト・ワークシート |
| 観察・実験の技能 | 25% | 定期テスト・ワークシート |
| 自然事象についての知識・理解 | 25% | 定期テスト・小テスト・ワークシート |

英語【1年3学期】

| 単元 | 到達目標 |
|--|---|
| Unit 10 あこがれのボストン | <ul style="list-style-type: none"> • できることやできないことについて述べることができる。 • できるかどうかをたずねたり、答えたりすることができる。 • いつできるかをたずねたり、答えたりすることができる。 |
| Daily Scene 6 ちょっとお願い | <ul style="list-style-type: none"> • 身近な人に許可を求めたり、依頼したりすることができる。 |
| Unit 11 思い出の一年 | <ul style="list-style-type: none"> • 過去に体験したことについて話したり、書いて記録したりすることができる。 • 過去に体験したことについてたずねたり、答えたりすることができる。 |
| Daily Scene 7 絵はがき | <ul style="list-style-type: none"> • 旅先からの絵はがきを8文以上の英語で書くことができる。 |
| Listening Activity 4 休暇中の出来事 | <ul style="list-style-type: none"> • ラジオ番組を聞き、要点を聞き取ることができる。 |
| Presentation 3 思い出の行事 | <ul style="list-style-type: none"> • Unit 11 までに学んだ表現を使って、自分の思い出について5文以上の英文を書いて発表したり、友達の発表を聞いて質問し合ったりすることができる。 |
| Let' s Read The Restaurant with Many Orders | <ul style="list-style-type: none"> • 物語を読んで、イラストなどを参考にあらすじや登場人物の気持ちを読み取ることができる。 |
| 観点別学習状況の評価対象と内容 | |
| <p>コミュニケーションへの関心・意欲・態度（30％）・・・授業態度、提出物等</p> <p>適切な英語を使って表現することができる（20％）・・・定期テスト、暗唱テスト、スピーチ等</p> <p>まとまった英語を読んで、内容を理解することができる（20％）・・・定期テスト、提出物等</p> <p>言語や文化についての知識・理解（30％）・・・定期テスト、小テスト等</p> | |

音楽【1年3学期】

| 分野 | 単元 | 到達目標 |
|-----------------|---------------------------------|---|
| 表現 | 階名で歌って、ハーモニーを楽しもう | 声部の役割や全体のひびきを感じ取って音楽表現を工夫し、どのように合わせて歌うかについて思いや意図を持って歌う。 |
| | 楽器の組み合わせや音の重ね方を工夫して、響きの面白さを味わおう | 構成を考えながら音の組み合わせ方など表現を工夫しリズムアンサンブルをする。 |
| 鑑賞 | 人々の暮らしから生まれた日本の民謡に親しみ、そのよさを味わおう | 音楽の特徴をとらえ、音楽の多様性を感じ取りそのよさや美しさを味わいながら聴く。 |
| 創作 理論 | 日本の音階を使って旋律をつくらう | リズム、音のつながり方を工夫し、どのように旋律をつくるかに意図をもって創作する。 |
| | 1年生まとめ | 1年間のまとめとして、主体的に学習に取り組む。 |
| 観点別学習状況の評価対象と内容 | | |
| 関心・意欲・態度 (25%) | | 提出物・忘れ物・取り組み姿勢・ワークシートなど |
| 表現の創意工夫 (25%) | | 歌テスト・リズムテスト・創作 |
| 表現の技能 (25%) | | 歌テスト・リズムテスト・創作 |
| 鑑賞の能力 (25%) | | 鑑賞プリント・小テスト |

美術【1年3学期】

| 分野 | 単元 | 到達目標 |
|-----------------|------------------|--|
| デザイン | 記憶に残る シンボルマーク | <ul style="list-style-type: none"> 生活の中にあるマークに関心を持ち、印象的にマークの形や色の構想を練ろう。 意図した内容に対応した形や色を整理し、工夫して表そう。 作者の表現意図を感じ取り、工夫された点などを話し合おう。 |
| 絵画 | 身近な人を見つめて | <ul style="list-style-type: none"> 身近な人を見つめ、特徴をとらえて表すことに関心を持つ。 身近な人の表情やしぐさをとらえ、性格や雰囲気を感じられるように構想を練ることができる。 表したい人の特徴を、ポーズや画面の構成を工夫して表すことができる。 作品のよさや美しさを味わい、作者の思いや意図を考えることができる。 |
| 想像 | 発想課題 | <ul style="list-style-type: none"> 様々な課題から想像することができる 皆と共有することで見方・考えを深めることができる |
| 観点別学習状況の評価対象と内容 | | |
| 関心・意欲・態度 | 25% | 提出物、提出期限、Fシート |
| 発想や構想の能力 | 25% | 発想シート |
| 創造的な技能 | 25% | 作品 |
| 鑑賞の能力 | 25% | 鑑賞シート、自己評価表 |

保健体育【1年3学期】

| 保健 体育 | 分野 | 単元 | 到達目標 | |
|-----------------|------------|------------------|-------------------------------------|--|
| | 体育 | 持久走 | | 心肺機能を高め、筋持久力や全身持久力を身につける。自分自身のめあてを見つけその記録に挑戦する楽しさや喜びを味わうことができるようにする。 |
| | | 陸上（跳躍） （ハードル） | | ・自己の目標の達成に向けて努力する。 |
| | | バレーボール | | ・基本技能(オーバーハンドパス・アンダーハンドパス)を身につけ、チームで協力して、簡単なゲームができるようにする。 |
| 保健 | 保健 体育理論 | | ・心身の機能の発達と心の健康 ・運動やスポーツの多様性について。 | |
| 観点別学習状況の評価対象と内容 | | | | |
| | 関心・意欲・態度 | 25% | 授業態度、忘れ物、見学、出欠状況 | |
| | 思考・判断・表現 | 25% | ファイル提出 実技テスト 授業の様子 | |
| | 運動の技能 | 25% | 実技テスト | |
| | 知識の理解 | 25% | 定期テスト ワーク レポート | |

| 保健 体育 | 分野 | 単元 | 到達目標 | |
|-----------------|------------|----------|--------------------------------------|--|
| | 体育 | 持久走 | | ・心肺機能を高め、筋持久力や全身持久力を身につける。自分自身のめあてを見つけその記録に挑戦する楽しさや喜びを味わうことができるようにする。 |
| | | ソフトボール | | ・基本技能（キャッチボール・バッティング）を修得し、仲間と協力し目標に向けて努力する。 |
| | | バスケットボール | | ・基本技能（パス・ドリブル・シュート）を身に付け、種目の特性に応じ、勝敗を競う楽しさや喜びを味わう。 ・作戦に応じた技能で仲間と連携したゲームが展開できるようにする。 |
| 保健 | 保健 体育理論 | | ・心身の機能の発達と心の健康。 ・運動やスポーツの多様性について。 | |
| 観点別学習状況の評価対象と内容 | | | | |
| | 関心・意欲・態度 | 25% | 授業態度、忘れ物、見学、出欠状況 | |
| | 思考・判断・表現 | 25% | ファイル提出 実技テスト 授業の様子 | |
| | 運動の技能 | 25% | 実技テスト | |
| | 知識の理解 | 25% | 定期テスト ワーク レポート | |

技術家庭【1年3学期】

| 分野 | 単元 | 到達目標 |
|---------------------|-----------|--|
| (技術) 材料と加工に関する技術 | 材料 | 材料と環境とのかかわりを知り、材料の使い方について考えることができる。 |
| | 製作 | 工具や機器を安全に使用することができる。 部品加工、組み立て及び仕上げ作業が正確にできる。 |
| (家庭分野) 衣生活と自立 | 布を用いた物の製作 | <ul style="list-style-type: none"> 布を用いた物の製作を通して、生活を豊かにするための工夫ができる。 衣服に関心を持ち、課題をもって衣生活について工夫し、計画を立てて実践できる。 |
| 住生活と自立 | 住まいのはたらき | <ul style="list-style-type: none"> 住まいの基本的なはたらきを理解し、住まいに必要な空間とその役割がわかる。 家族の生活行為と住まいの空間とのかかわりがわかる。 |
| | 健康で安全な住まい | <ul style="list-style-type: none"> 健康に配慮した住まい方を考え、工夫することができる。 家族の安全を考えた住まい方を工夫できる。 |
| | 住まいと地域 | <ul style="list-style-type: none"> 地域とつながる視点から安全で快適な住まい方について考えることができる。 住まい方が地域に及ぼす影響がわかり、住まい方を工夫できる。 |
| 観点別学習状況の評価対象と内容 | | |
| 家庭生活・技術への関心、意欲、態度 | 25 % | 提出物・授業態度 |
| 生活を創意工夫する能力 | 25 % | 提出物・授業態度・実習製作品 |
| 生活の技能 | 25 % | 提出物・授業態度・実習製作品 |
| 家庭生活・技能についての知識・理解 | 25 % | 定期テスト |